

【論・旭川】 掲示板

旭川や地域に関する話題や情報なら基本的にどんなことでも書込みOKです。
もちろんサイトに関するご意見・ご感想・誤りご指摘等大歓迎です。
私momongaも自分なりに気になった話題があればブログ代わりに書込みます。



誹謗中傷やマナーに反する投稿については管理者権限において警告あるいは削除いたします。
また宣伝広告の無断リンク等の行為はアクセス制限の上無条件に削除いたします。

なお当掲示板は画像添付やタグの使用が可能ですがあまり極端な使用はお控えください。
特に文字サイズの乱用は掲示板全体を見づらくしてしまいます。
画像については容量1MB以内を同時に3枚まで投稿可能ですが実際には横サイズ400ピクセル相当に縮小表示されます。
投稿画像は画像をクリックすると最大800×600のサイズで見ることができます。
1MBを超える画像は投稿時エラーになりますので適切なサイズに縮小の上ご投稿ください。

[Reload](#)

【重要】teacup_byGMOのサービス終了について

<思いやりのあるコミュニティ宣言>
teacup 掲示板は、皆様の権利を守りながら、思いやり、温かみのあるコミュニティづくりを応援します。
いつもご協力いただきありがとうございます。

投稿者

メール

題名

投稿

確認

内容



入力補助



画像・ファイル

 youtubeの<IFRAME>タグが利用可能です。

[\(詳細\)](#)

URL

[[ケータイで使う](#)] [[BBSティッカー](#)] [[書込み通知](#)] [[検索](#)]

キーワード: [旭川](#) [情報](#) [歴史](#) [[その他](#)]

検索

《前のページ

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

次のページ》

全1586件の内、新着の記事から50件ずつ表示します。

Re: 緑が丘の住宅街 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2016年 2月 3日(水)21時29分49秒

[返信・引用](#)

かんじさんへ

緑が丘の住宅街は全て旭川市による造成&分譲ですね。
昭和45~6年頃の造成だったと思います。

当時の五十嵐広三市長の肝入りで、歩車道を完全分離した画期的な？住宅街として造成されました。
各区画の真ん中が広場の様になってるのは、意図的に車が通り抜けできないような構造にしたためです。
(私はけっして良い構造とは思ってませんが・・・)

つまり、緑が丘のあの変わった道路構造は全て意図的に施したものです。
造成時は「神楽岡ニュータウン」と呼んでましたが、造成完了後は「緑が丘」なるどこにでもある町名が付けられました。
旭川市自ら造成した宅地というのは後にも先にもここだけじゃないかな。
分譲販売ももちろん旭川市で、確か2年か3年以内に家を建てるという条件があったはずですよ。

Re: 緑が丘の住宅街 投稿者: [モリゴロウ](#) 投稿日: 2016年 2月 3日(水)18時39分15秒

[返信・引用](#)

> [No.1128\[元記事へ\]](#)

かんじさんへ

momongaさんの質問に横やりしてすいません

余談として聞いて下さい

昭和49年当時、私の同級生が引っ越し(転校)した家に遊びに行ったのですが当時は「緑が丘ウッドタウン」と呼ばれ造成されていたと記憶してます(同級生が緑が丘ウッドタウンに家を建てたと自慢してたんで)

遊びに行った「緑が丘」は道路の端はまだジャリだったり、植樹や花壇の整備をしていた記憶もあります
やはり緑と融合した街づくりをイメージしていたのではないかと思います〜旭川市が関与していたかはわかりません

車通りも少ないコンクリートと木の街並みに地下歩道橋があったのが今でも思い出されます

Re: ブーベの恋人 投稿者: [モリゴロウ](#) 投稿日: 2016年 2月 3日(水)18時22分26秒

[返信・引用](#)

かんじさんへ

お近くにお住まいでしたか！

この投稿後、私の父親と話す機会があり聞いてみると(父は43年からタクシー運転手をしてました)

「羽衣トルコは良く知ってるぞ」と

当時、旭川には3条の「旭川トルコ」(のちにコルトに改名)と「羽衣トルコ」があり
要望がある(笑)お客さんを乗せたそうです(旭橋観光センターはもう少し後で出来たようです)

「羽衣トルコ」の方はタクシーでお客さんを連れて行くと初乗りが80~100円くらいの時に、
管理しているおばちゃんが200円ものチップをくれたそうです

「旭川トルコ」の方はそのような心遣いも無かったのでタクシーの運転手さんは「ご利用」のお客さんの指定がない限り「羽衣トルコ」に連れて行ったそうです(笑)でも「タマ揃えは旭川トルコの方が良かった」と(爆)

「旭川西高校が移転する頃に無くなったなあ」と付け加えていました

あ、momongaさん こんな下ネタを書き込んでスイマセン

ご不快になりましたらお取消し下さいませ<m(____)m>

緑が丘の住宅街 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2016年 2月 3日(水)17時31分57秒

[返信・引用](#)

momongaさんに質問です。

緑が丘の有名なラーメン屋のふるきの裏に広がる住宅街って、区画がなんか独特ですよ。

普通に道路が交差する区画割じゃなく、ワンブロック毎に中央に車が乗り入れる広場があります。

10世帯位が共同で生活するって感じなんですけど、他では見られない住宅街だと思うんです。

これって何かの実験的にこんな形にしたんでしょうか？

その後、他では見られないので成功したとも思えないのですが、何をしようとして結果どうだったのかなんてわかりませんか？

そういえばそこに知り合いが住んでいるんですが、その人が言うには昔、その中央の処に花を植えなさいと、市から指導を受けたというのです。という事はあそこは旭川市が造成して販売したんですか？



Re: ブーベの恋人 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2016年 2月 3日(水)17時18分20秒

[返信・引用](#)

> [No. 1126\[元記事へ\]](#)

モリゴロウさんへ

> その右側ため池の周りに羽衣○○○なる大人のアミューズセンターが(笑)

> ため池がありその引き込みは「近文オホーツナイ川」と思われます

>

> 当時、林産試験場や木工会社が多かった近文、川端地区にこんな施設(笑)があったなんて

ごく近くに住んでいました。

家の向かいが林業指導所（現林産試験場）で親が木材会社にいたものでね。

でも当時さすがに大人の世界の事はわからなかったなあ（笑）

Re: ブーベの恋人 投稿者: [モリゴロウ](#) 投稿日: 2016年 2月 1日(月)16時10分5秒

[返信・引用](#)

> [No. 1125\[元記事へ\]](#)

ブーベの恋人の続き～

日本地図編集社 昭和41年度の住宅地図を見てきました

昭和40年の謎の書き込みだった「ブーベの恋人」は編集され消されていました(笑)

やはりイタズラ書きだったのでしょね

さらに41年度版には老人ホームから偕行社に復活していました（まだかなり怪しい姿ですが）

最初の調査人は、かなりいい加減な仕事をしていたのでしょうね（写真一枚目）

そして気になる？地区を発見したのを写真二枚目で紹介します

左側の道路は下に向かうと旭西橋、上方向はイオン旭川西になります

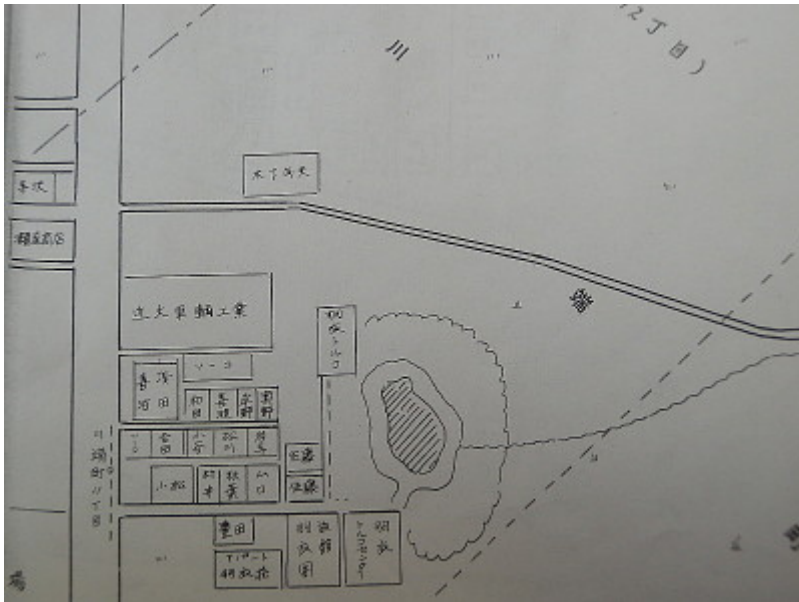
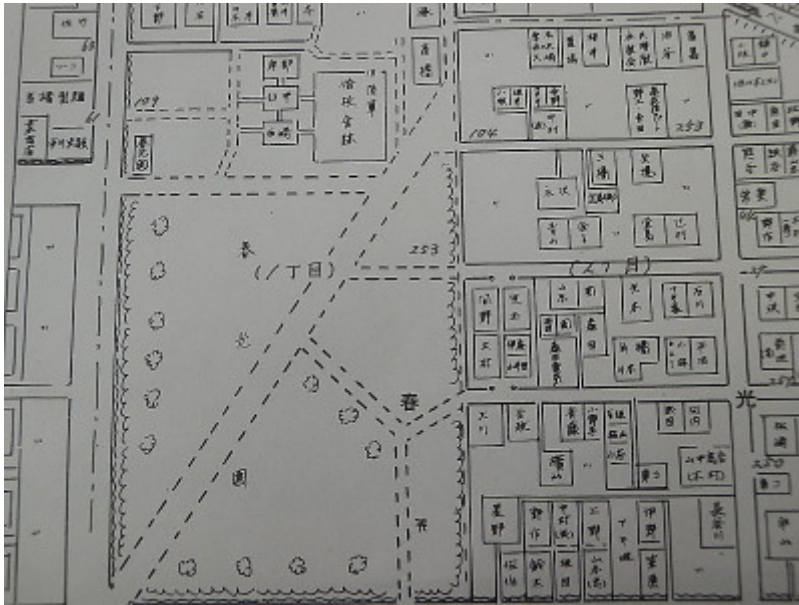
左の「瀬尾商店」あたりが今の血液センターにあたる場所です

その右側ため池の周りに羽衣〇〇〇なる大人のアミューズセンターが(笑)

ため池がありその引き込みは「近文オホーツナイ川」と思われます

当時、林産試験場や木工会社が多かった近文、川端地区にこんな施設(笑)があったなんて

ご報告まで



Re: ブーベの恋人 投稿者:モリゴロウ 投稿日:2016年1月28日(木)18時32分31秒

[返信・引用](#)

> [No.1124\[元記事へ\]](#)

momongaさん

やはりこの地図の信頼性はないようですね

借行社の建物があまりにもボロくて何かわからず記載したくなかったのか？(笑)

ブーベの恋人も落書きと言うのも納得いきます

まあこれからは楽しい読み物として閲覧してきますわ(笑)

私が初めて借行社を見たのは昭和49年、旭川市郷土博物館として使用されていました

そんな事を思い出しました

また疑問が生まれたら教えてくださいね！

ありがとうございました！

Re: ブーベの恋人 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2016年 1月28日(木)00時04分14秒

[返信・引用](#)

う～ん、かなりいい加減な地図ですねえ～。
まあ、昔の手書きの住宅地図のようですから、個人宅名の記載を優先して実際とは建物や道路の位置がズレてるんでしょうね。
それにしても、園内路なんかもずいぶん実際とは違ってますね。

借行社は建築当初から現在の場所に変更がありません。
戦後は進駐軍が接收し、その後仮校舎などに使われたようですが、老人ホームというのはいったいありません。
そんなものに利用できるような造りではないですよ。
ちなみに昭和40年頃はお化け屋敷でした。(笑)
http://homepage2.nifty.com/momonga_farm/gunto/kaikousya.html

昭和43年に復元され、建築当時の美しい姿に戻されました。
現在も大改修中で3年前から閉館中です。

Re: ブーベの恋人 投稿者: [モリゴロウ](#) 投稿日: 2016年 1月27日(水)14時25分12秒

[返信・引用](#)

> [No. 1122\[元記事へ\]](#)

momongaさん、かんじさん、ご返答ありがとうございます。

やはり謎ですよ(笑)

かんじさんの言う通り、作成者のイタズラ書きっぽい気がしてきました

旭川図書館にはこの地図会社(日本地図編集社)の昭和40年、41年、42年、44年、45年、48年が保管されているようですので全部調べてきますね！

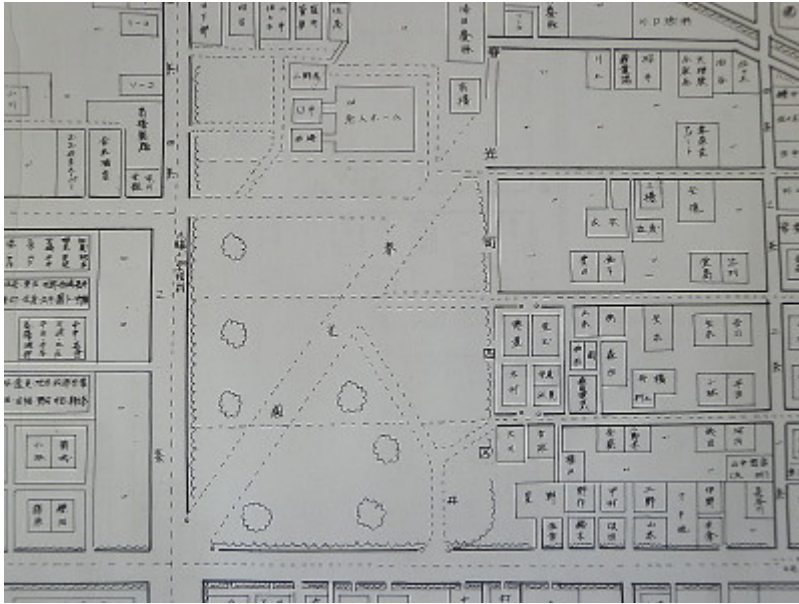
そしてもう一つ同じ地図の他のページに腑に落ちない所がありましたのでお聞きしたいと思います

コレは春光園の所になりますが借行社が無いんですよ

借行社は1902年の建設当時からあの場所にあって移転してきた訳ではないですよ？

昭和40年当時は借行社が老人ホームだったとか？

この地図自体が信頼性が無い物なのか気になります



Re: ブーベの恋人 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2016年 1月26日(火)21時07分33秒

[返信・引用](#)

モリゴロウさん、かんじさんが言われる通りバンザイです（笑）

確かにモートルで昔「ブーベの恋人」というのがあったような気がしますが・・・
記憶が定かではありません。
もちろん、あったとしても川の真ん中にある訳はありませんよね。

謎です。

Re: ブーベの恋人 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2016年 1月26日(火)13時13分26秒

[返信・引用](#)

モリゴロウさんへ

＞ 諸先輩方のご意見をお願いします！

あまりにも難問奇問ですね。
これにはいくら旭川の歴史に詳しいmomongaさんでもお手上げだと察します。

そこで私が珍解答を、、、。
「ブーベの恋人」を色々検索してみますと、当時相当に流行った映画のようですね。
ジョージチャキリスなんて私でも知っている俳優が主演しています。
さらには永遠のアイドル「ザ・ピーナッツ」、さらには「いしだあゆみ」までがブーベの恋人というシングルレコードを出しているではないですか。
当時の社会現象だったかも知れません。

ということで私の回答は、「地図の作者がいたずらでブーベの恋人という言葉を隠し入れた」です。
映画なんかでもカメオ出演とか、ちらっと冗談で有名人をいれたりしますよね。
昔の建物でも解体すると中にいたずら書きがあったりもします。

そんないたずらではないでしょうか、、、。（^^；

ブーベの恋人 投稿者: [モリゴロウ](#) 投稿日: 2016年 1月25日(月)11時43分45秒

[返信・引用](#)

先日、市立図書館にて昭和40年旭川住宅明細地図を閲覧した時に謎の言葉を発見しました

まだ旭川大橋が掛る前の忠別川に「ブーベの恋人」なる文字が記載されていました

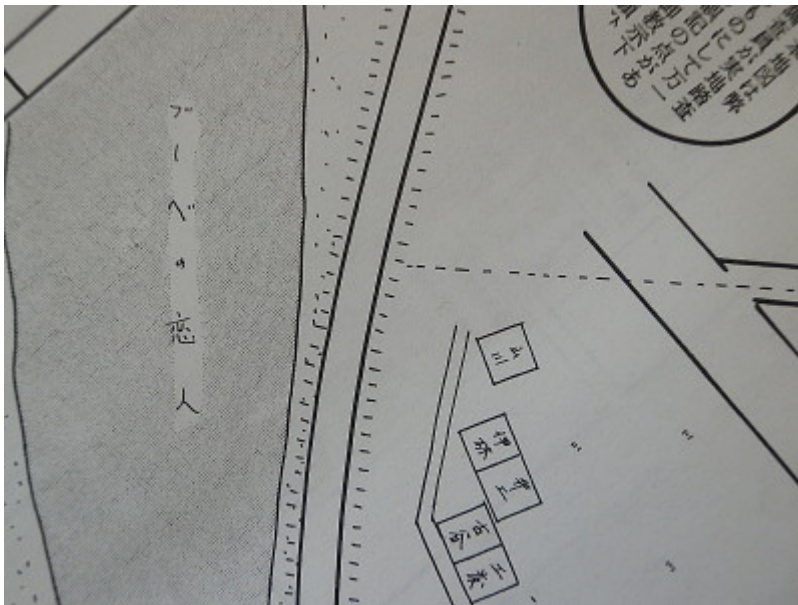
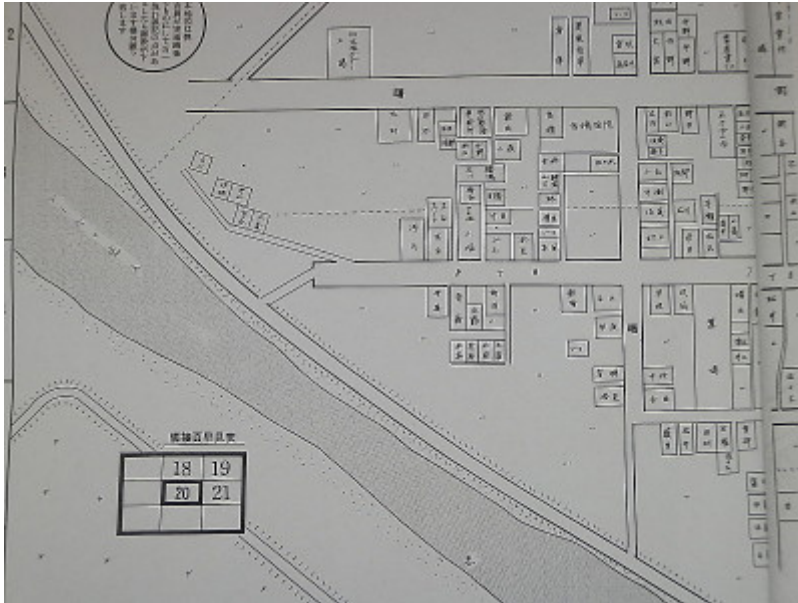
(文字の場所的には後の旭川大橋が掛る場所です)
 当時の住宅地図ですので手書きの地図ですが川の部分はスクリーントーンが貼られていて削り込み文字が見えるようにしてあります

写真ではイタズラの様に見えますが後から書き込んだ物でもなくシッカリと印刷されています

後で「ブーベの恋人」を調べてみるとイタリアの小説で昭和38年に映画化されていると判明しました

しかし何故、川の真ん中に書いてあるのでしょうか？
 そこに看板があったとか、川の中州に「ブーベの恋人」を名乗るモーターがあったとか？(考えすぎ)笑

諸先輩方のご意見をお願いします！



Re: 近文25丁目 投稿者: [モリゴロウ](#) 投稿日: 2016年 1月 7日(木)17時53分26秒

[返信・引用](#)

> [No. 1118\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

早速のご回答ありがとうございます！

友人の話はほぼ正解だったんですね～

私も親からそんな話を昔聞いた気がしてましたが「なぜ？」こんな離れた場所に??と

疑問符がついたまま月日は流れてうろ覚えな感じでした

友人は「今のイオンの前に鉄道学校があった」などと初耳の話ばかり聞いて

まだまだ修行が足りないと感じています

ありがとうございました！

Re: 近文25丁目 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2016年 1月 7日(木)10時01分4秒

[返信・引用](#)

モリゴロウさん今年も宜しくお願いします。

件の場所にあったのは、現在の医療センター（道北病院）の前身で、国立療養所です。

主に結核患者が入院し、療養していました。昔は結核は不治の病と言われましたし、伝染の可能性もありますから、その結核患者向け施設という事で隔離施設などという風評が立ったのでしょうね。

国立療養所道北病院となった時に、現在の40号線沿いに移転し、近文の跡地は空地になりました。

以来ずっと空地のままですが、今は確か市有地になってるんじゃないかな。

現在も医療センターの上階部分は結核患者向けの病室になってると思います。

近文25丁目 投稿者: [モリゴロウ](#) 投稿日: 2016年 1月 6日(水)18時03分46秒

[返信・引用](#)

諸先輩方今年もよろしく申し上げます！

新年早々ですが友人と話をしていた時、近文25丁目（現在は排雪の雪置き場）に

病院関係？隔離施設のようなモノがあったと言う話を聞きました

昭和59年頃に平屋の建物が何軒か残っていたのを記憶していますが

あの広い敷地で木に囲まれていた場所に何があったのかご存知でしたら

ぜひ教えて頂きたいと思います

よろしく申し上げます

謹賀新年 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2016年 1月 3日(日)11時40分48秒

[返信・引用](#)

あけましておめでとうございます。

去年は、旧第七師団司令部の基礎が発掘された事を、いち早くこの掲示板読者が発見し、新聞報道を通じて社会に公開されるなど、大きな意義のある年だったと思います。

今年もまた更に旭川の歴史の探求に努め新たな発見でもあれば良いですね。

よろしく願い申し上げます。

かんじ



新年 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2016年 1月 3日(日)09時20分27秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

明けましておめでとうございます。

本年も皆様との歴史談義・まち談義を楽しみにしております。
宜しく願い申し上げます。



ようやく休みです 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2015年12月31日(木)12時42分19秒

[返信・引用](#)

この年末、とうとう昨日ぎりぎりまで仕事に追われました。
ようやく今日大晦日から年末年始休暇に入れました。

それだけでなく今年の年末年始のカレンダーの巡り合わせはあまり良ろしくないですが、
私はさらに縮まりそうです。(涙)
こんな事言ったら、正月も休み無く働く方々に叱られるかな。

天気もこの年末年始は荒れる事はなさそうですが、当たる事を願っています。
皆さま、良いお年を。

久々に冷え込みましたね 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2015年12月23日(水)21時45分37秒

[返信・引用](#)

気が付いたらひと月以上書き込んでませんでした。m()m
この12月、仕事やら何やらで忙殺されております。
私の大嫌いな年末が未だ進行中です。(笑)

でも不幸中の幸いは、今冬もここまでは雪が少ない事ですね。
12月に入ってからずっと日中の気温がプラスで、真冬日がほとんどないってのは旭川ではちょっと異常です。
一時けっこう積もった雪も融けてしまったので、記録的な小雪だった昨冬の積雪をも下回っていますよね。

<http://www.jma->

[net.go.jp/sapporo/tenki/kansoku/snow/snowmap/snowgraph.html?
&no=14&element=Snc9am&dateSelect=2015-12-23](http://net.go.jp/sapporo/tenki/kansoku/snow/snowmap/snowgraph.html?&no=14&element=Snc9am&dateSelect=2015-12-23)

まあ、このままで済むとは思ってませんが、
それにしても天気予報の外しっぷりは益々ひどくなっていますねえ・・・
以前にも指摘した事がありますが、降雪の予報はもちろん、気温の予報も平気で
±3°C以上外します。

http://9008.teacup.com/momonga_farm/bbs/700

今朝の気温も、昨日の降雪も、やっぱり外してましたよね。

いい加減考え直したほうがよろしいのではないのでしょうか、予報屋さん。

Re: 門柱移設は24日 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2015年11月19日(木)10時07分30秒

[返信・引用](#)

> [No.1111\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

> 11tって・・・とんでもなく重たいんですねえ、想像を遥かに超えています。

1mx1mx4.5mx2.4=10.8t

こんなレベルだと思います。

25tクレーンを使うと言っていました、一般的には表示の4分の1程度のものしか
吊らないので、無理があれば2つに切断も考えているとも言っていました。

> 門柱周りでの構築物といえば哨舎くらいしかないですから、その残骸のような気が
します。

なるほど。自衛隊の方は古い門柱の基礎かなあなんて言っていました。わからなさ
そうでした(^_^)；

> ちなみに、自衛隊員の方が作業をしてるんですね。

そうなんです。門柱の移設はあくまでも訓練のいっかんとして自衛隊が行うそうで
す。

あと北側の広い土地を掘り返して埋設物調査をやっていますが、何も出てこないと言
っていました。確かに昔の写真を見ても北側にはたいして建物が無かったように思
います。

Re: 門柱移設は24日 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2015年11月18日(水)21時17分37秒

[返信・引用](#)

かんじさんへ

いよいよか、という感じですね。

11tって・・・とんでもなく重たいんですねえ、想像を遥かに超えています。

何か不明の基礎が出てきたという事ですが、大きさからしてもしかしたら歩哨の立
った哨舎の基礎ではないでしょうか？

明治時代に造られた哨舎は木造ですが、背面にコンクリート製の防弾壁が建てられ
ています。

たぶん門柱がコンクリート製になった時に哨舎もコンクリート製に造り替えられた
と思われませんが、

レンガ製の基礎はそのまま生かされたとか？

門柱周りでの構築物といえば哨舎くらいしかないですから、その残骸のような気が
します。

ちなみに、自衛隊員の方が作業をしてるんですね。

門柱移設は24日 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2015年11月18日(水)15時32分20秒

[返信・引用](#)

門柱の移設が報じられていますが、今日作業をしているところを見てきました。現在は緩衝材で保護され丈夫なラップのようなもので幾重にも巻かれている状態です。

基礎を確認する為に周囲を掘り下げています。

25tクレーンを使っての実際の移設は24日から行うそうです。ただ門柱が非常に重く

大きいもので11tほどもありなかなか難航しそうとの事でした。

上部の方は風化が進んでいますが地中はしっかりした状態で、やはり非常に硬いそうです。

周囲を掘ると1.5mほど離れた場所で写真のように何かの基礎煉瓦が出てきたようですが、何かは不明との事。

司令部の基礎部分は防衛省や教育委員会で検討した結果、そのまま埋め戻すことになり

現在は既に埋め戻されていました。

掘り返せばたぶん司令部全体の基礎が埋まっているだろうとの事ですが、現在進めている調査が終われば民間に売却が決まっているようで、そうすると司令部の半分は民間に売り渡されます。

その後何かの建てものが立つのであれば、その時点で無くなってしまおうでしょうね。

それでも半分は自衛隊の宿舍の駐車場の形でしばらくは地中で眠りそうです。

そうそう。司令部基礎の煉瓦をすこし頂いてきました(^_^;







旧七師団司令部門柱移設 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2015年11月13日(金)10時33分31秒

[返信・引用](#)

今朝、報じられましたね。

私もかんじさんと考えが一緒で、こういった遺構・遺跡は「その場所にある」ことが最も重要な要素だと思います。
移設してしまったら単に形を残したというだけで、存在価値としては半減以下。中には形そのものが貴重な文化財も多いでしょうが、特にこの門柱の場合は「ここに司令部があった」という指標的な意味での価値が大半ではなかったでしょうか。
造形的な文化価値はそれほど高いとは思えません。
つまり場所を移した時点でその価値はほぼ無くなるに等しいと思うのです。

何とか今の場所で環境整備してほしかったのに、とても残念です。

PS : 門柱のそばに立っている松の木も確か司令部時代からのものだと思いますが、
あれはどうなるのかな？

Re: 明治35年のコンクリート 投稿者: [モリゴロウ](#) 投稿日: 2015年11月 9日(月)16時24分18秒

[返信・引用](#)

> [No.1102\[元記事へ\]](#)

昨日現在の工事現場の状況です

キレイにまわりの土もよけられていてしっかりと観察出来ました

レンガとコンクリート片は一か所にまとめられて置かれていました
遺跡跡を発掘している雰囲気醸し出されているようでした
このまま保存して欲しいものです



Re: こんなことに… 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2015年11月9日(月)13時52分49秒

[返信・引用](#)

あずさんへ

> コンクリートネタとしては、小樽の北防波堤だったかな？100年以上も現存していて、たしか火山灰を練り込み強度を増したとか…。ラジオで聞いたような記憶があります。確かそうですね、かんじさん。

お詳しいですね。

私も専門家ではありませんが、明治時代に小樽の北防波堤を設計し作った方は広井勇といいまして日本のコンクリートの父であり、その時に6万個もの強度試験体を作り100年を過ぎた今も強度試験を続けているそうです。

興味のある方は[こちら](#)を読んでください。

http://www1.hus.ac.jp/~hit_doboku/doboku/1_hiroi.html

旭川市役所が老朽化で建て替えを余儀なくされていると聞くと、コンクリートも老朽化するんだと思われがちですが、私には老朽化しているのは設備関係であり躯体が老朽化しているとは思えません。

残念なことに57年前には耐震設計ではありませんので、いまの耐震基準ではアウト

なのでしょう。
ただこの耐震診断も建築の友人に言わせると、何通りもの診断方法がありアウトになった診断方法ではないものも試すべきだと主張しています。
57年前と聞くと、わー古いんだね→壊してもあたりまえという感覚が多くの人にるのが残念です。50年も経てば古くなって壊すのが当たり前なのは、「ウサギ小屋」と揶揄された日本の粗末な住宅だけです。
公共建築物は100年以上持つのがあたりまえという感覚でものを作ってもらいたいものです。

∴

自衛隊の官舎のある場所は、国の土地を防衛省が借りているそうですね。
そこで一旦財務省に返却して、地下1.5mまでの深さにおかしなものが埋まっていなにかを調査の上売却されると聞きました。

Re: こんなことに… 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2015年11月 7日(土)12時50分12秒

[返信・引用](#)

あずさん、世間は大騒ぎですよ。(笑)
たとえば少々大袈裟ですが、でもあずさんの情報が発端なのは間違いありません。

私もコンクリートは年数が経つほどに固さが増して行くという話を聞いた事があります。
これが、かんじさんの言われるセメントの質なのか、元々コンクリートが持つ特性なのかは分かりませんが・・・
ダムなんかも、何十年かで限界が来ないのかな？なんて考えますが、あまりそういう話は聞かないですよ。
市役所は60年経って老朽化が激しいなんて言われてるのに・・・

それはともかく、
今回話題の春光の自衛隊宿舎一帯は、更地がかなりの部分を占めてますし、空家も増えているようですが、
あの辺の国有地は全て売却されるという事なんではないでしょうか？
他の場所に新たな宿舎を建ててる話も聞かないし、それだけ隊員が減ったという事なのかな？

Re: 北海道東海大学 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2015年11月 7日(土)12時26分1秒

[返信・引用](#)

モリゴロウさんへ

私は東海大学の撤退をあっさり許してしまった旭川市にも少し憤りを感じています。
「私大の経営方針だから仕方ない」で、ほとんど何もしなかったのではないのでしょうか。

単に大学が1つ減るというだけではなく、私が最も残念に思うのは、東海大学旭川校は数少ないデザインを学べる学科を有していたという事です。
昔と比べ衰退したとはいえ、旭川は依然日本有数の家具のマチで、現在でも全国的に一目置かれる地位を保っているのはそのデザイン力です。
昔はごっつい箱物家具ばかりつくってましたが、
先日亡くなられたカンディハウスの長原氏を中心に数十年前からデザインを重視し、
国際家具デザインフェアを開催するなど、デザイン力の向上に力を入れてきました。

そのデザイン力向上の一翼を担ってきたのが東海大学旭川校ではなかったでしょうか。
地元の木材屋さんに頼んでつくってもらった私の家のテレビ&オーディオ棚も、
デザインしてくれたのは、東海大の卒業生でした。
「旭川の歴史的建物の保存を考える会」の川島先生も元々東海大ですよ。

旭川にこそ、こういった大学は必要なんですけどね。
今さら手遅れですが・・・

こんなことに… 投稿者: [あず](#) 投稿日: 2015年11月 7日(土)09時36分29秒

[返信・引用](#)

momongaさん、かんじさん、一週間ぶりですね。
道新の記事も見えていなかったの、まさかこんなことになっているなんて驚きです。

コンクリートネタとしては、小樽の北防波堤だったかな？100年以上も現存していて、たしか火山灰を練り込み強度を増したとか…。ラジオで聞いたような記憶があります。確かそうですね、かんじさん。

それにしても、どこまで記録・保存されるのかが楽しみです。
とりあえず、処分しなくてはいけない残土や「ガラ」も、多少はサンプルとして残したり…。

かんじさん情報の、目的は国有地の売却のための埋設物調査…ですが、このエリアは自衛隊の官舎が建っていたので、多くは昭和40年代～に一度掘った場所も多いのですが、その当時でも古い建物が残っていました。上物は無くなった後も、そのままになっている場所が北西側にあります。解体時に基礎まで撤去したかどうかは分かりませんが…。

古い資料を頼りに調査するのでしょうけど、もし国有地が売却された後に何かしらの建物がいざ新築って時に過去の埋蔵物が出るわ出るわ…。なんてことになりかねないですものね。

たぶんやるからには、徹底的にすることでしょう。
楽しみ～。

北海道東海大学 投稿者: [モリゴロウ](#) 投稿日: 2015年11月 6日(金)17時43分55秒

[返信・引用](#)

9月に入ってから北海道東海大学旭川キャンパスのシンボル「赤い鉄塔」が外され何日かで白い校舎も解体されてしまいました

我が母校であるこの場所に行ってみようと思いましたが工事関係者以外立ち入り禁止

通学に使っていたケモノ道も閉鎖されていましたが一目見たくて嵐山展望台から眺めてきました

今日の新聞に載っていましたが体育館も解体された事実を知りショック。。。

跡地が旭川市に無償譲渡されるとの事で、どんな施設が出来て訪問出来る日を楽しみにしている次第です
(おセンチな話題でスイマセン)

明治35年のコンクリート 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2015年11月 6日(金)15時44分3秒

[返信・引用](#)

今日、大変ご迷惑をおかけしている工事現場の代理人さんと少しだけ話をしてみました。
もともと歴史に関心のなかった代理人さんは、まさかこんな事になるとは思っていなかったという事です。
新聞にも載って今後どんな動きになるかはわからないのですが、防衛庁の方から新しい指示として、師団基礎の位置や深さなど詳細を図示した資料を早急に作るように言われたそうです。
その資料を基に何か検討を行うのではないのでしょうか？

それから明治35年頃のコンクリートの品質について質問したところ、「信じられないほど硬い」そうです。
工事に支障になる部分を削ろうとピック（削岩機）で叩いてもなかなか壊れないほどの硬さだという事です。
現在の縁石なんかのベースコンクリート基礎は160kg/cm2程度の強度なんですけどそ

れほど硬いものではありません。
昔のコンクリートって硬いんですよ。今よりはるかに品質が良いんです。
さらに高強度のコンクリートは数十年も年数を経るごとに強度を増してゆくん
です。
話には聞いていましたが改めて昔のコンクリートの品質の良さを実感しました。

Re: 師団司令部の確証 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2015年11月 6日(金)11時33分30秒

[返信](#)・[引用](#) [編集済](#)

かんじさんへ

相変わらずすばらしい立証ですね！
司令部本庁舎の一部であると疑いようのない事が、視覚的に一発で確認できます。

昔だったら専門家が時間をかけて当時の写真や図面を照合して行なった作業が、
Google Earthや画像処理ソフトを使えば、一般人でもあっと言う間にこういった合
成ができる・・・
今の世の中本当に便利になりました。

私も少し見習わなくっちゃ。(^^)

P S : 司令部門柱の移設は本決まりですか！？
ショックだなあ・・・
つい先日も「門柱の周辺をもっと何とかしろ」と話してたばかりじゃないで
すか。

師団司令部の確証 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2015年11月 5日(木)18時09分13秒

[返信](#)・[引用](#)

間藤さんが紙面で、あの遺構は師団司令部正面右側の基礎の一部と言っています
が、それを確証してみました。
私の得意なPhotoShopによる重ね合わせです。
まず左に終戦時の司令部の写った白黒写真と、右に最新版のGoogleMapによる2枚
の写真を用意します。
次にこの2枚を重ね合わせます。
そしてフォトショップの機能で透過率を変化させると2枚の写真が重なって見えま
す。
左は古い写真が見えやすい透過率で、右は新しい写真が見えやすい透過率にしまし
た。
屋根の青い斜めの建物は現在の自衛隊のアパートで、その上に白く長く見えるの
が、
旧師団司令部です。
現在の見えやすい写真で、今回の工事個所を赤線でくくってみますと、、、、。
なるほど現在見えている基礎は、師団司令部真正面をわずかに含む司令部の右側で
あることが
この写真から良くわかります。
間藤さん、さすがです。





Re: 道新に報じられました 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2015年11月 5日(木)17時26分49秒

[返信・引用](#)

あずさんへ

> あずさんからの情報が発端でコンクリート論議となりましたが、
> 今朝の道新に写真入りで『旧七師団司令部の遺構か』と道内版でけっこう大きく報じられましたね。

今回の最大の功績者はあずさんです。
あずさんの情報が拡散した結果なんです。
新聞記事中で名前が出ていた間藤さんは、元旭川市の建築に携わっていた方ですが、
いまでは古建築研究家として第七師団の建築物に関しては最も知識の豊富な方です。
今回、自らの研究対象の第七師団の遺構を見られたこと、そしてそれが道内版の紙面に公表され
広く世間に知らしめられるという結果となったことを非常に喜んでいました。
あずさん、本当にありがとうございました。

追加情報として、あの辺り一帯の調査が行われるそうです。
目的は国有地の売却のための埋設物調査だそうです、今後まだまだいろいろ出てきそうです。
でも、それは撤去される可能性が高いですが。
そうそう、大情報として司令部の門柱は北鎮記念館に移設だそうです。
残念だあああああ。
形が残ることは悪くはありませんが、元の場所にあるという事が私にとっては重要なんですけどねえ。
昔、ここに確かに司令部があったという証（あかし）
なので今回の司令部の基礎が出てきたこと、そのまま埋められそうなことは逆に嬉しいことなのです。
まさかポンペイの遺跡のように保存するほどのものでもないでしょうからね(^_^;

道新に報じられました 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2015年11月 5日(木)15時34分29秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

あずさんからの情報が発端でコンクリート論議となりましたが、
今朝の道新に写真入りで『旧七師団司令部の遺構か』と道内版でけっこう大きく報じられましたね。

ウェブ版でも途中まで見られます。

<http://dd.hokkaido-np.co.jp/news/society/society/1-0198328.html>

あずさんの情報の方が5日も早かった訳ですが、
これまたタイミング良く新聞も採り上げてくれたもんだなあと思っていたところ、
どうやらこの記事の仕掛人は、当掲示板の中におられたようです。^^; (汗)

ま、どのような形であれ、色んな媒体がこういった話題を採り上げてくれる事は良い事だと思います。

旭川は歴史（近代史）好きの方が、実は意外と多いような気がするんですよ。

昔の街を懐かしむ年輩の方が多いのかもしれませんが、

たまに開かれる郷土史セミナーや昔の写真展などはけっこう盛況です。

でも、やはり情報が限られているので、こういった情報はどんどん発信してほしい

ものです。

PS : 道新の記事の写真をみると、既に砂利を入れ始めたようです。
ここ一両日中くらいしか見られる機会はなさそうですね。

Re: 速報です！ 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2015年11月 4日(水)09時13分54秒

[返信・引用](#)

> [No.1096\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

> なるほど、コンクリートは我々が思ってる以上に古いという事なんですね。偉そうに言いましたが(^_^;わたしも最近知ったことです。私もコンクリートというと煉瓦のあとの昭和に入ったところからの物ってイメージでしたが、古くはエジプトのピラミッドやローマの建築物にもたくさん使われていると知った時にはけっこうカルチャーショックでした。ではなぜコンクリートが近代のものと思ったかという答えが鉄筋なんですよ。鉄筋コンクリートの普及こそが煉瓦の後のコンクリート構造物の普及だったようです。でも日本は古くから木造構造物の文化ですから、古くにはコンクリートやモルタルはありません。日本でモルタルやコンクリートが使われるようになったのは、明治初期に煉瓦が使われるようになったのと同時期になります。レンガもコンクリートも明治維新による輸入産物で同時ってわけですね。

Re: 速報です！ 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2015年11月 3日(火)23時53分42秒

[返信・引用](#)

かんじさんへ

なるほど、コンクリートは我々が思ってる以上に古いという事なんですね。考えてみれば、レンガを積むにしても間にはモルタルが詰められてますもんね。セメント自体は明治の早い時期から使われていたという事ですか。

この時代、まさかレンガ基礎の下にコンクリートが現れるとは思いませんでした。今後の参考になります。m(__)m

Re: 速報です！ 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2015年11月 3日(火)19時06分59秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

momongaさんへ

> という事は、明治32年の建築当初から、既に基礎にコンクリートが使われていたという事なんですか？

そうです。コンクリート自体ははるかに古いものなのです。セメント、モルタル、コンクリートは極端な話1000年以上前からあります。イタリアのローマのコロッセオも石材とレンガとコンクリートの合体です。無かったのは鉄筋です。石材やレンガの繋ぎは遥か昔からモルタルであり圧縮部材や粘着部材としてのセメントは昔からあります。なので、第七師団のレンガ基礎のその下のベースと呼ばれる基礎材がモルタルやコンクリートであることは不思議ではありません。安易な建物の場合、基礎材として砂利なんかを均して固めてその上にレンガを積んで行くこともあったでしょうが、重要な建物はさらにベースにモルタルやコンクリートで基礎をつくりその上にレンガを積んで行くという手法だったようです。写真を見る限り結構大きなコンクリート基礎の上にレンガ基礎を積んでいますね。セメントが高価なものであったことは無いので、それだけ重要な建物だったってことかな。司令部ですものね。

建物にレンガや石材が使われなくなったのは昭和に入って鉄筋コンクリートという手法が利用されるようになり、壁材としてコンクリートが使えるようになり、その単価が石材やレンガよりも安くなったからです。

Re: 速報です！ 投稿者: momonga 投稿日: 2015年11月 2日(月)22時30分3秒

[返信・引用](#)

かんじさんへ

> コンクリートという事ですが、別の情報では煉瓦基礎をコンクリートで補強してあるのでは？
> その情報も流れてきております。

ここはかんじさんの方が専門家でしょうが、実際に見た限りではちょっと違う気がします。
時系列で考えると、レンガ基礎が先にあってその後にコンクリートで補強、という順番になるかと思いますが、アップで写した写真で分かると思いますが、コンクリートの断面にレンガの痕跡が見えません。
明らかにコンクリートだけの基礎の上にレンガ基礎を積んでいるように見えます。これ、私もちょっと不思議に思いました。

という事は、明治32年の建築当初から、既に基礎にコンクリートが使われていたという事なんでしょうか？



Re: 速報です！ 投稿者: かんじ 投稿日: 2015年11月 2日(月)18時12分17秒

[返信・引用](#)

> [No. 1090\[元記事へ\]](#)

あずさんへ

> momongaさん、かんじさん、【論・旭川】掲示板をご覧の皆さまへ速報です！
> 第七師団司令部の基礎部分が見られますよ～。

>
あずさん、素晴らしい発見です。
司令部の基礎がそのまま残っていたなんて。
見事なレンガ基礎ですね。
防衛庁の仕事でしょうが、旧師団の遺構を壊さずに残してくれたことに感謝です。
また、今回そのままにするようにとの指示だそうで、このまま埋めてしまえば、ふたたび後世に残るという事で嬉しく思います。
コンクリートという事ですが、別の情報では煉瓦基礎をコンクリートで補強してあるのでは？
その情報も流れてきております。
司令部は昭和10年頃でしたか、大幅な改築を行っていますが、その際に基礎の補強をしたのではとの仮説もあります。
司令部の門柱も直されていますが、煉瓦積の門柱をコンクリートで包む形で補強さ

れています。
レンガ基礎にコンクリートがという事ですが、セメントやコンクリートは相当に古い時代からあります。
昭和になって普及が始まったのは鉄筋コンクリートです。
レンガ積の構造もレンガの間にはモルタル（セメント+砂）で積み上げられています。
なので煉瓦の基礎にモルタルやコンクリート（セメント+砂利+砂）が使われていても不思議ではありません。
もちろんセメントは高価なものでしたので、主要材は煉瓦や石材をつかっていたわけですけどね。

速報の続き 投稿者: [あず](#) 投稿日: 2015年11月 2日(月)00時16分47秒

[返信・引用](#)

現場の方に確認させていただいたのは、遺跡の発掘などでは無くあくまでも防衛省の工事の一環の中での発見で、報告すると撤去はせずに現状を残しつつ工事を進めるように指示があったということでした。

それにしても約100年ぶりに陽を見た遺構と考えると、当時の職人たちの姿はもちろん、工法についても興味がつきませんね。

借行社の基礎部分は軟石が積まれていますので、「砂利+組積造の基礎」が基本なのだと思いますが、まさか基礎のベースにコンクリートが使われているなんて想像もしませんでした。

明治の30年前後にどこからセメントがやって来たのか。
ベースコンクリート上の基礎の立上げ部分に使用されているレンガの産地は？
またまた謎が深まります。

momongaさんの写真に写っている自衛隊官舎は、「特7」と言っていたものでこの地区最後に建設されたものです。
ちなみに、すでに解体されましたが最初に建設された「特1官舎」完成と同時に移り住んだのが幼き私です。（笑）

たしか引っ越し後も、数年は司令部の建物が「お化け屋敷」のように現存していて何回か「探検」に行きました。
ギンギンと階段を上がり、広い部屋の木の机の上に黒電話があったり…。

そんな消えてしまった建物の名残りに遭えるなんて感動しました。
momongaさんが、早速反応してくれてお知らせしてよかったなあ〜と。。。

Re: 速報です！ 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2015年11月 1日(日)22時36分19秒

[返信・引用](#)

あずさん、お久しぶりです。
そして貴重な情報をありがとうございます。
教えて下さらなければ、たぶん知らずに終わってしまっていたでしょう。

今日さっそく見てきました。
門柱に平行している事と、その距離から、司令部建物の基礎である事は間違いなさそうですね。
明らかにコンクリートにレンガも混じっているみたいです。
素人の私にはこれがどういう事なのかは分かりませんが、地中にこんな基礎が残っていたとは驚きです。
まるで遺跡ですネ。

でもこれ、どう見ても道路工事ですよ。
近日中に砂利で埋め戻されて舗装をかけられてしまいそうです。

う〜〜ん、いいのかな？



速報です！ 投稿者: [あず](#) 投稿日: 2015年10月31日(土)22時19分13秒

[返信・引用](#)

momongaさん、かんじさん、【論・旭川】掲示板をご覧の皆さまへ速報です！
第七師団司令部の基礎部分が見られますよ～。

今日たまたま通りすぎりに、何やら工事をしているなと思ったら、基礎らしきものが…。
これはひょっとしてと思い急停車。

工事関係の人とお話しして写真を撮らせてもらいました。
こんな機会はそうそう無いでしょうから…。ぜひ。



Re: 戦車は実際に渡っていた！？ 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2015年10月31日(土)11時34

[返信・引用](#)

分26秒

かんじさん、記事をメールしてくださり、たいへんありがとうございました。

なるほど、戦車の耐寒試験などの意味合いもあったんですね。
現在の自動車メーカーが寒冷地テストコースを持っているのと一緒にですね（笑）

昭和10年といえば、日中戦争やノモンハン事件などに突入する前ですから、やはり大陸を意識してこういった演習や性能試験を旭川でも行っていたという事でしょうか。
当時も市民に演習まで見学させていたというのはちょっと意外でした。

それにしても、これだけ当時話題になり、新聞記事も残っていながら、今の今まで戦車が旭橋を渡ったかどうか不明だったというのが不思議ですよね。
やはり興味を持って調べれば、まだまだ色々出てきそうです。
いくら通説となっていて、間違いもけっこうありそうですね。

Re: 戦車は実際に渡っていた！？ 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2015年10月30日(金)10時32分33秒 [返信](#)・[引用](#) [編集](#)済

> [No.1087\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

その後記事の真相を探るべく、図書館に行きまして昭和10年当時の戦車に関する新聞記事を検索しマイクロフィルムから新聞記事を調べてきました。
戦車に関する記事はかなりあり、当時旭川には戦車部隊がなかったものの、戦車の耐寒性能試験と大陸寒地での戦闘訓練も兼ねて、何度か戦車が旭川にやってきました。

その中で、戦車が旭橋を渡ったであろう記述のある記事は以下の2つです。

いずれも小樽新聞ですが、

S10.1.22 「千葉の戦車隊旭川へ着く愈よあすから演習」
・・・・千葉県津田沼戦車第二連隊の戦車及び装甲自動車11台は21日午後二時過ぎ怪異な姿を旭川駅頭に現し電車線路を進行し歩兵第27連隊前の練兵場に繰込んだ・・・・

S10.8.21 「春光台を中心に精鋭戦車隊活躍 24日から5日間」
・・・・24日は旭川駅において戦車の積下しに午前中を費やし午後から〇台の戦車が体系をととのへて旭川師団通りを練兵場へと前進25日〇〇より正午頃歩兵26連隊と連合・・・・。

両記事とも旭橋を渡ったという直接的記述はありませんが、師団通りを通過とか電車線路をとかいった記述から旭橋を渡ったことは確実であろうと思います。

なぜ近文からの支線ではなく旭川駅にという疑問ですが、戦車が来るたびに演習が大勢の市民に見学されているところから、時代背景から言っても国民の士気を鼓舞するという意味があったように思います。

添付写真は旭川で演習中の戦車です。



Re: 戦車は実際に渡っていた！？ 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2015年10月27日(火)10時11分 [返信](#) [引用](#) [編集](#) 済
分37秒

かんじさんへ

あの記事の記者さんに会ったわけですね。
私も色々聞いてみたかったです。

何かの特別演習だったのですかね？
演習に必要なので、一時的にどこか別の師団から戦車を搬入したという事でしょうか。
旭川駅を使ったのはやはりアピールのためとしか考えようがありませんよね。

当時ゴムキャタピラなんてあったのかどうか知りませんが、
街中の師団通りは既に舗装されていたはずですから、道路は大丈夫だったのかなあ、なんて思いましたよ。
当時の日本の戦車は小さいですから、電車の軌道は避けられたかもしれません。

旭橋はぜんぜんへっちゃらだったけど、周りの道路がガチャガチャだったりして・・・（笑）

PS: 写真お褒めの言葉ありがとうございます。
3年程前に写したのですが、ちょうどこの時橋脚の補修工事をやっていました。

Re: 戦車は実際に渡っていた！？ 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2015年10月26日(月)16時17分30秒 [返信](#) [引用](#) [編集](#) 済
秒

> [No. 1085\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

あの記事には私もビックリしました。
え？戦車が渡ったの？？？
って感じです。

偶然ではあったのですが、昨日郷土史家T氏のもとを訪ねるとあの記事を書いた道新の記者さんがいたんです。
それで元記事のコピーも見ました。戦車が来るよという記事と戦車が来たよという2本の記事でしたよ。
それを見ながらT氏と3人で、なんで旭川駅まで行ったんだろうねとか、電車の軌道は邪魔にならないのかとかいろいろ言うておりました。
結論はできませんが、演習のアピール的な要素はあったのじゃないかという話になっていましたよ。
記事には戦車の台数は書かれておらず。戦車〇台となっています。

軍事秘密だろうという事や、大した数じゃなかったのだろうなんて想像していました。
ただ、当時としても戦車が来て旭橋を渡るのはかなりインパクトのあることなので、なんで写真や記録に無いんだろうねえというのはかなりの疑問です。
戦車は夜中の0時に駅に到着して、翌日昼からの演習に参加しています。
そのうちに基記事も手に入れておきます。
などなど、もっと調べがいのある記事ですね。

p s
旭橋の写真、良い写真ですねえ。

戦車は実際に渡っていた！？ 投稿者:momonga✉ 投稿日:2015年10月25日(日)18時22分34秒

[返信・引用](#)

これまで私はサイトの中や当掲示板にて、旭橋の架橋時の性格を「戦車の渡れる軍事橋」と表現してきました。
もっともこの表現は、なにも私が発想した訳でも何でもなく、設計時の強度を表す言葉として昔から言われていたものです。
架橋に当たって、軍が深く関与した事は間違いないでしょうが、実際に戦車が渡ったか？と問われると、たぶんそれはなかつただろうと考えてました。

http://homepage2.nifty.com/momonga_farm/gunto/asahibashi.html
http://9008.teacup.com/momonga_farm/bbs/945

実際問題、旭川には歩兵・騎兵・砲兵など一通りの部隊が集中していたものの、戦車を保有してたかどうか定かではありません。
少なくとも、戦前から残る軍にまつわる写真の中に、戦車の写ってる写真は見たことがありませんし、
また、戦前を回顧する記述等でも戦車が登場するシーンに出くわした事はありません。

ところがどっこい、旭川での戦車の演習を報じた昭和15年8月21日付小樽新聞の記事が見つかったそうです。

(北海道新聞10月23日朝刊道北面より)
しかも、『戦車が体系をととのへて旭川師団通りを練兵場へと前進』とあるそうで、これを言葉通りに受け取れば、戦車の隊列が旭橋を渡った事になります。

これには私もちょっとビックリしました。
実際に戦車があったとして、何の目的で市街地側へ入ったのか？
石狩川から南側に演習地はありませんから、おそらく何かのイベントだったと見るべきでしょうか。
もしかして、新たに配備された戦車を敢えて師団線を使わずに旭川駅まで運搬し、自走で師団へ向かったのかもしれません。
記事の全文が紹介されていないので詳細は全く不明ですが・・・。

その旭橋ですが、来月11月3日で架橋83年を向かえます。
北海道開発局が管理する3622の橋の中ではダントツ最も古い橋です。
3年前には橋桁をジャッキアップしながら行うという橋脚の大改修も実施されました。

この美しい橋を、まだまだ、日本一古い現役橋となるまで守ってほしいと願います。



北の誉 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2015年10月18日(日)22時12分32秒

[返信・引用](#)

北海道を代表する日本酒の銘柄である「北の誉」が、発祥の地小樽での醸造を終了するそうです。

北の誉酒造は、現在でこそ札幌に本社を置いてますが、元々は小樽の野口吉次郎商店がその前身です。
そして、旭川とも実に深い関わりがあります。

野口商店は、小樽で北の誉の醸造を開始して間もない明治40年に野口合資会社とし、旭川でも醸造を始めます。
そしてその時の旭川のオーナーが、出資者の一人である岡田重次郎氏でした。
後に5条16丁目に岡田邸を建てたその人です。
つまり北の誉という銘柄は、旭川産のブランドでもあったわけです。

これとは別に、当時、東京浅草が本拠地の神谷酒造が旭川に蒸留酒工場を持っていました。
神谷酒造は、当時としてはハイカラな「神谷バー」という日本初のバーを浅草に開き、「電気ブラン」なる、ブランデーを模したカクテルなども販売していました。
また茨城に国内初のワイナリーを造るなど、先進的な経営を手広く行なっていましたが、
大正12年の関東大震災によって都内の店舗などが被災し、大きな損害を受けまし

た。

そこで、救済のため立ち上がったのが野口商店です。
旭川の蒸留酒工場を買い取る形で神谷酒造に助け舟を出しました。
さらに、道内の焼酎会社3社を合併して誕生したのが合同酒精です。

合同酒精は焼酎製造の大手として戦前戦後を通じて発展して上場し、
自身の発祥である神谷酒造を傘下に入れ、昭和38年に東京へ本社を移しました。
その後のビール・洋酒ブームで一時期経営不振だったものの、昭和50年代の焼酎ブ
ームで息を吹き返しました。
そして平成15年、合同酒精を主幹とする持株会社オエノンホールディングスを設立
し、
平成19年、生みの親とも言える北の誉酒造をも子会社としたのです。
また、旭川の地元酒蔵の一つである「大雪の蔵」も、合同酒精旭川工場の日本酒部
門と言えます。

このように、過去と現在で立場は逆転しているものの、
北の誉という銘柄を通じた、小樽と旭川、そして合同酒精、神谷酒造の間には切っ
ても切れない深い縁があるのです。

相変わらず日本酒業界はけっして盛況とはいえない状況にありますが、
今回の、北の誉発祥の地小樽での醸造終了の報道は、そのような歴史を知っている
方なら感慨深いものがあるかもしれません。
オエノンホールディングス＝合同酒精にとっても苦渋の決断だった？

北の誉の第二の故郷である旭川で、その醸造が続けられる事になったのはせめても
の幸いだと思います。

Re: 北彩都 投稿者: momonga 投稿日: 2015年10月18日(日)09時53分42秒

[返信・引用](#)

おお～、IMAIさんお久しぶりです。

北彩都からの夜景、すごいですねー
旭川とは思えない新スポットですね。

私も撮りに行こうっと。

北彩都 投稿者: IMAI 投稿日: 2015年10月17日(土)19時31分4秒

[返信・引用](#)

ご無沙汰で～す^- ^-

思い出した様に来ました

駅裏すっかり綺麗になりましたね～
新しい撮影スポットとしてもテンション上がります。



《前のページ》 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 《次のページ》
以上は、新着順501番目から550番目までの記事です。

/ 32 ページ移動

新着順 投稿順 表示切替

【論・旭川】 HPへ戻る

管理者へメール

[RSS](#)

管理者メニュー

自分の投稿の編集

[teacup.レンタル掲示板](#)